



タンポポの綿毛孤独の旅に出る

上山美穂

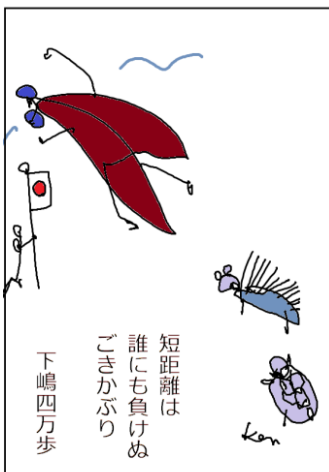
擬人化の句である。自由で明るいタンポポの絮に内包する孤独感が描かれていて深い。タンポポに作者の思いを重ねているのだろう。



花粉症予防に長き付けまつ毛

田村米生

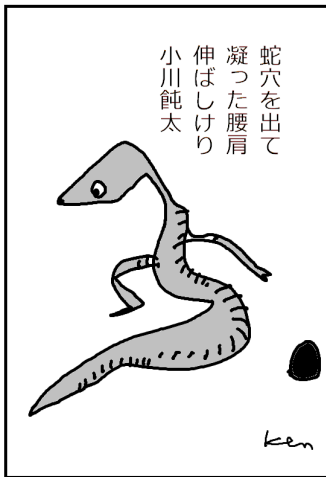
なるほど確かに、付けまつ毛は花粉除けになりますね。とすると女性だけでなく花粉症の男性にもお勧めですね。目元パッチリ、視界もスッキリ。



短距離は誰にも負けぬごきかぶり

下嶋四万歩

一所懸命は傍から見ると時として滑稽である。ゴキブリの素早い逃げ足は敵ながらあっぱれ、見事できえある。驚いて慌てる姿には健気さも。



蛇穴を出て凝った腰肩伸ばしけり

小川鈍太

蛇の腰や肩がどの辺りかは判然とせぬが、冬眠で体のあちこちに凝りがあるのは間違いない。穴を出て凝りをほぐしストレッチする姿が目につかぶ。



重力に負ける乳房藤の房

吉川正紀子

「乳房」は「ちちぶさ」と読む。女性ならではの実感を重ねて可笑しい句になった。ただし、重力に負けるのは筋力の低下の場合もあるからご用心。



更衣ストリッパーは靴を脱ぐ

西をさむ

仕事柄、年中衣類は身につけていない。唯一、衣装といえるものは靴くらいだから更衣といえば靴を脱ぐことである。誰も気が付かなかった視点。